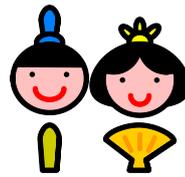


令和7年度
学校だより
第44号

あかさか

おもいやりの心もち お互いに高め合い
たくましく生きる子ども



伊達市立大田小学校
文責：芳賀沼真由美
令和8年3月13日

☆☆ 感謝の気持ちをこめて～6年生を送る会～ ☆☆

3月6日（金）に「6年生を送る会」を行いました。

5年生と4年生が中心になって会を企画し、3年生が6年生への招待状を作成し、3～5年生が体育館の飾り付けをするなど、分担しながらこれまで準備を進めてきました。

5年生の実行委員長のあいさつの後、ゲーム「かもつれっしゃ」と歌のプレゼントをしました。「かもつれっしゃ」では、長～い列をつくりながらジャンケンをし、この日のチャンピオンは1年生！笑顔いっぱいです。歌のプレゼントでは、4年生が「ゆうき100%」の歌詞を心温まる素敵な「6年生を送る会バージョン」にアレンジし、1～5年生みんなで元気に歌いました。

また、6年生へ1～5年生の手作りの品をプレゼント。嬉しそうな6年生の表情が素敵でした。

鼓笛引き継ぎ式では、6年生の指揮者から5年生の指揮者へ指揮棒が渡され、6年生の鼓笛への思いを引き継ぎながら、1～5年生で「ドラムマーチ」「校歌」を堂々と演奏しました。

お礼に、6年生から1～5年生へ歌「ぼくらの日々」とダンスをプレゼント。6年生からのメッセージ「ありがとう これからもがんばってね」には胸が熱くなりました。

最後に、5年生が準備したくす玉もきれいに割れ、中から「6年生 ありがとう」のメッセージ。1～5年生の6年生への感謝の気持ちがたくさんこめられ、笑顔いっぱいの優しさあふれる素敵な「6年生を送る会」となりました。



全校集会（東日本大震災追悼） ～東日本大震災から15年～



3月11日（水）に全校集会（東日本大震災追悼）を行いました。

2011年3月11日の東日本大震災から15年となりますが、6年生が生まれる前の出来事で、東日本大震災のことをよく知らない子どもたち。

全校集会では、まず「東日本大震災のこと」について話しました。伊達市でも震度6弱の大きな地震が起き、家や小学校が壊れてしまったこと。沿岸地域には津波が襲い、家が流されてしまった人もいたこと。そして、原子力発電所の爆発が起こり、放射線を含む物質が出てしまい、たくさんの人が避難したこと。

次に「東日本大震災から学んだこと」について話しました。「自助」と「共助」、特に「かけがえのない自分の命を大切にすること」。また、「当たり前毎日を当たり前と思わずに、感謝して生活すること」について話をしました。

東日本大震災や大きな自然災害などの影響で、今でも避難生活を余儀なくされている方も大勢います。当たり前の生活ができることに感謝して、1日1日を大切に過ごしていきたいと思います。

ひがしにほんだいいんさい まな
東日本大震災から学ぶこと①

じじよ
自助
じぶん いのち
自分の命を
じぶん まも
自分で守ること。



ひがしにほんだいいんさい まな
東日本大震災から学ぶこと②

きょうじよ
共助
かぞく がっこう
家族や学校、
ちいさきひと
地域の人たちと
きょうりよくたす あ
協力して助け合うこと。



ひがしにほんだいいんさい まな
東日本大震災から学ぶこと③
そして・・・

たったひとつの
かけがえのない
じぶん いのち たいせつ
自分の命を大切にすること

